

平成19年12月18日
消 防 庁

「平成19年版消防白書」の公表

総務省消防庁は、「[平成19年版消防白書](#)」を本日の閣議に報告するとともに、公表いたします。

消防白書は、国民の生命、身体及び財産を災害等から守る消防防災活動について紹介するものであり、毎年刊行しています。

平成19年版の白書は、特集として「切迫する大地震～それに立ち向かう施策とは～」を、トピックスⅠとして「消防の広域化に向けて」、トピックスⅡとして「消防団員確保に向けた取組」、トピックスⅢとして「国民保護体制充実のためのシステム整備～全国瞬時警報システム(J-ALERT)と安否情報システム～」、トピックスⅣとして「急増する救急需要！～救急自動車の適正利用の推進～」について記述しています。

また、本編は、八つの章で構成し、各種災害の発生状況や最近の動向を記述し、安心・安全な地域社会づくりに向け、今後の消防防災体制の充実強化を図るための方策について述べています。

<公表方法等>

○消防庁ホームページ(<http://www.fdma.go.jp>)への掲載

○出 版

A4カラー刷りの冊子(定価3,000円(税込))。(主要書店、政府刊行物サービスセンター及び官報販売所において、12月19日(水)から発売予定)

連絡先：消防庁総務課 三宅政策評価広報官
濱田広報係長
TEL： 03-5253-7521 (直通)
03-5253-5111 (内線 7551、7570)
FAX： 03-5253-7531